

事業名: 住宅土地統計調査費, 細事業名: 住宅土地統計調査費, 財務コード: 602302, 担当部課室: 県民生活 部 統計調査 課 生活教育 担当 (内線) 1507, 調書番号: 8

I 事業の概要

実施期間: 始期 S23 年度 ~ 終期 年度, 実施主体: 補助(市町村), 目的: だれ(何)を対象に... その対象をどのような状態にして... 結果、何に結びつけるのか..., 内容: 住宅土地統計調査は統計法が定める基幹統計調査として5年に1度実施(総務省所管)...

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

Table with columns: 区分, 指標, 25年度, 26年度, 27年度, 28年度, 29年度, 30年度, 31年度. Includes activity and achievement indicators for H25 and H30 years.

III 事業の評価(平成29年度の業績評価)

Table for performance evaluation with columns: 活動指標, 成果指標, 評価. Includes a note about the survey area.

\*「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
\*指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(平成31年度に向けた改善等の考え方)

Table for necessity of review with columns: 見直し, 有効性, 見直しの余地, その他, 見直しの必要性. Includes checkboxes for high/low necessity and reasons for improvement.

V 見直しの方向(平成31年度当初予算等での対応状況)

Table for direction of review with columns: 実施方法等の変更, 説明. Includes text about reporting and implementation.

\*見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。